

西三河版



潮岬灯台
犬飼綾乃
アイリス絵画同好会
ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

岡崎支局 〒444-0863
岡崎市東明大寺町16-18
0564-22-1661 Fax25-1554

豊田支局 〒471-0024
豊田市元城町4-30-5
0565-31-3200 Fax31-3203

安城通信局
0566-76-3355 Fax76-0900

西尾通信局
0563-56-3135 Fax56-3136

刈谷通信局
0566-21-0077 Fax26-0285

碧南通信局
0566-41-0468 Fax43-1047

豊橋総局
0532-52-7181 Fax54-4655

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

広告のお申し込みは
広告局三河アドセンターへ
岡崎 0564-23-3051(代)

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

HOSPITAL 医療法人 秋田病院

- 整形外科 ●リウマチ科
- 内科 ●胃腸科
- リハビリテーション科 (その他7科目)

エフエム岡崎 76.3

7.45	岡崎情報室・LICC
10.00	フレイクNOW 岡崎情報室
1.00	ランチカ 歌に誘われて
5.00	システムW 西尾
7.00	情報ステーション 西尾
7.30	フォーック/牧野将典
8.00	音魂クラシック

ラジオアール 78.6

7.00	あさ♡らぶ 杉浦佳代
9.05	G・B 小林祥子
11.00	ひる♡らぶ 里中ユウ
2.00	M・S 藤田倫

技術力デザインで生かす

愛知、岐阜両県のものづくり企業四社による新製品が、クラウドファンディングサイト「Make (メイク)」で大きな反響を呼んでいる。樹脂製の開梱ナイフや急須に自動車関連部品の製造などで磨いた技術力が光る。経営者の一人は「下請けのイメージから脱却する大切な一歩になった」と喜ぶ。

(四方さつき)

安城の「AMN」呼び掛け 4社新製品

新製品の企画から販売支援 業「AMN」の呼び掛けに応 じた四社がそれぞれ、東京を 拠点とする若手デザイナーや

グループと開発に取り組ん だ。 西尾市長縄町の精密切削加 工会社「セイワ」は二〇一八 年、加藤正和社長(四社)と若手 社員三人で「チームセイワ 魂」を結成。自社製品の開発 に取り組んでいたが難航して いた。加藤社長は「技術にとっ て価値を持たせればいいのか。市場で必要とされるもの を生みだし、それをアピール するためのセンスも足りない」と悩んでいた」と振り返る。

削り跡をデザインした開梱ナイフを手に する加藤社長。西尾市長縄町のセイワで



「下請けイメージ脱却に一步」

そうした状況下で連携した デザイナーが工場を見学した 時の視点に驚かされた。削り にくい目を留め、製造途中の 刃物の削り跡を「模様」と表 現した。セイワの石器を横し た開梱ナイフ「OOPART S(オーパーツ)1001」 は、デザイナーに「カッコい い」と言われたその削り跡を デザインとして極め、出来上 がった。

「電気自動車(EV)化を 見据え、変化についていける 会社にならなくては」と思いが



改良点を確認する井下さん(左)と小幡社 長(右)幸田町六栗の鈴木化学工業所で

強い」と話すのは、幸田町六 栗の自動車部品メーカー「鈴 木化学工業所」の小幡和史社 長(四社)だ。工場が多様な部品 を作る技術を見たデザイナー が、割れにくい冷めにくい急 須への応用を提案。小幡社長 は井下邦之さん(三社)を中心と する自社の若手に開発を託し た。

井下さんは「何とかデザイ ン画通りの物を仕上げたい」と 頭を悩ませ続けた。高い圧 着技術を駆使し、デザイナー が求める様式美と機能性を追 求した二層構造の急須を作り 上げた。「本当に大変でし た」と笑う井下さんだが、新 たなものづくりへの手応えを 手にした。

木升製造販売の大橋量器 (岐阜県大垣市)はヒノキ製 冷凍(飯用)容器を、段ボール 緩衝材設計の長江紙器(春日 井市)は組み立て椅子をつく った。Makeの応援 購入の申し込みは十五日ま で。一般販売も予定する。鈴 木化学工業所の小幡社長は 「購入者の信頼を裏切らない 製品を届ける」。セイワの加 藤社長は「一過性の話題で終 わりたくない。勝負はこれか ら」と意気込む。